

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査リーフレットについて

牧之原市教育委員会・牧之原市菊川市学校組合教育委員会では、平成29年度全国学力・学習状況調査の結果・分析をリーフレットにまとめ、市内小中学校、保護者に配付するとともに、市教委HPにアップした。

このリーフレットは小学6年生、中学3年生の教科テスト、学習や生活習慣についての調査結果から、牧之原の子どもたちの学力や学習状況を分析して、授業改善や家庭での指導に生かすことを目的に作成している。

特に本年度は、国や県の平均値と比べて、「自己肯定感が高い」「地域との連携ができてきている」など本市教育のよさを、グラフなどで明確に示した。こうした成果を示して、今後とも地域・家庭・学校が一体となった教育への理解・協力を求めた。

### 記事1 「教科テストの状況」

- ・ 教科テストの結果は点数だけに振り回されないように、本年度も「ことばでの報告」を行っている。本年度のテスト結果は、小中とも全国と比べ「ほぼ同じ」だった。(平均正答数の全国との差が0.5問より小さい場合を「ほぼ同じ」と示している。)
- ・ 漢字の読み書きや計算などの基礎的な力は確実に定着している。各校の授業及び家庭学習の改善や、学習支援サポーター配置、放課後学習支援等の取組が効果をあげている。

習得内容を活用することにも向上は見られたが、関連づける情報が複雑になると、目的につながらない解答が多く見られた。「自分の目的に応じて知識等を活用できる」段階まで学力を高めていくことが今後の課題である。

### 記事2 「質問紙調査の状況」

- ・ 周囲の温かい支えにより自己肯定感が育まれている子どもが多い。特に中学生は国や県の平均値を超える8割近い生徒が「自分にはよいところがある」「学校が楽しい」と回答した。
- ・ 地域の行事に参加する中学生は国の平均値を35ポイント上回る結果だった。家庭・学校が、密接に連携して小中学生の教育に取り組んでいる。
- ・ 「家庭でゲームやインターネットについてルールを決めて、守っている」という回答は半数を下回った。改めて家庭での時間の使い方を話し合うことを保護者にお願いした。

リーフレット完成後、市研修主任者会で、今後の指導や授業改善について説明した。また学校でも学級懇談会等で保護者に説明して配付する。

# 牧之原の子どもたちの学力・学習の様子

牧之原市教育委員会、牧之原市菊川市学校組合教育委員会

## 全国学力・学習状況調査について

子どもたちの学力や学習状況を把握し、今後の教育活動の改善に役立てるために実施されるものです。



### 調査の構成

3種類で構成されています

(A問題) 【知識】主として知識を問う問題

【質問紙調査】学習意欲、生活習慣、学習の環境等についての意識調査

(B問題) 【活用】主として活用・応用に関する問題

### 教科調査の状況

小学校 (平均正答数の 全国結果との比較)	国語A (15問)	国語B (9問)	算数A (15問)	算数B (11問)
	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ
中学校 (平均正答数の 全国結果との比較)	国語A (32問)	国語B (9問)	数学A (36問)	数学B (15問)
	ほぼ同じ	ほぼ同じ	0.5問分高い	ほぼ同じ
質問紙調査 (「〇〇の授業は 好きか」の回答)	市の小学生約4割、中学生約6割が「好き」と答えています。小学生は全国より低く、中学生は高くなっています。		小中学生とも約6割が「好き」と答えていて、中学生は県や全国を上回っています。	

※「ほぼ同じ」とは、全国平均正答数との差が0.5問より小さいことを示します。

### 「国語」の成果と課題

#### 成果

「漢字の読み書き」「書写の知識(行書と楷書)」「ことわざの理解」などことばの知識をはかる問題は国や県の平均正答率を上回っています。



#### 課題

「目的や立場、字数など条件に沿って文章を書く問題」「答えが複数あったり、全体を批判的にとらえて比較や検討をする問題」など、主体的に考え判断して回答する問題に課題があります。

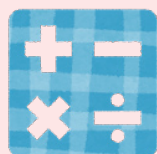
#### 今後の取組

「活用できる言葉の力を整理して教えること」「子ども自身が伸びを自覚できる指導」により力を入れていきます。

### 「算数・数学」の成果と課題

#### 成果

用語の意味(例: 図形の合同条件等)を正しく理解しています。また基礎的な計算の技能(例:  $6 + 0$ 、 $5 \times 2$ )がしっかり身についています。



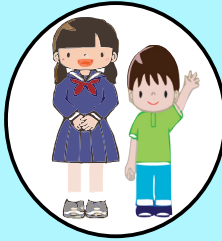
#### 課題

式と図、表、グラフなどを関連づけて考えたり、生活の中で必要な情報を選択して数学的に処理(例: 封筒を三等分する線を引く方法を考える)したりする力に課題があります。

#### 今後の取組

数学的に考えたり、説明したり、解釈し合ったりする学習をさらに充実させます。「結果を振り返ってまとめる」「いつでも成り立つか検討する」など

# 質問紙調査にみる 牧之原の子ども たちのよさと課題



## 「地域との連携」ができています

「地域行事に参加している」中学生

77.2%

全国  
45.2%



「地域を題材とした総合的な学習に取り組んだ」小学生

77.1%

全国  
69.8%

「地域の方がよく教育に参加してくれる」小学校

87.5%

全国  
51.3%



地域、家庭、学校が一体となって子どもの教育に取り組んでいることで子どもたちの安定した情緒や自己肯定感がよく育まれています。

## 自己肯定感が高い

「学校が楽しい」中学生

86.1%

全国  
80.9%

「自分にはよいところがある」中学生

79.4%

全国  
69.3%



子どもの話を真剣に聞いたり、豊かな体験をさせたりする家庭や学校での良い関わりが子どもたちの自己肯定感を高めています。



## 家庭での時間の使い方が課題

「1日にTV等を3時間以上見る」小学生

35.6%

全国  
32.2%



「1日にゲームを2時間以上やる」中学生

50.6%

全国  
37.6%



「1日にインターネットやメール等を2時間以上やる」中学生

33.8%

全国  
32.2%



「1日に2時間以上勉強する(塾を含む)」中学生

30.9%

全国  
35.4%



## 保護者の方へのお願い

### 「家庭でのルール」を明確に

「家の人と決めたインターネットやゲームなどの約束を守っている」

小学生

48.2%

全国  
48.7%

中学生

41.2%

全国  
50.6%

牧之原の子どもたちは愛情ある家庭教育によって安定した情緒や素直な心が育まれています。

しかし家庭での時間の使い方には一部課題が見られます。「TVを見る時間」、「ゲームをやる時間」など、改めてご家庭での時間の使い方について、お子さんと話し合い、「家庭での約束」について振り返ってみてはいかがでしょうか。

子どもたちの社会性や自立心をさらに引き出せるように今後とも学校教育との連携をよろしくお願いいたします。

